

答 (観光経済課)

特産品や松田ブランド開発を進める場としていきたい。いろいろな団体の利用が考えられる。

質 寄小学校・寄中学校の生徒用トイレが未改修だ。計画に入っているのか。

答 (教育課)

学校の要望を聞き修繕計画に組み入れる。

質 町民文化センターの活用が停滞している。国庫補助の対象となる劇場・音楽堂として活用できないか。

答 (教育課)

松田町には適合しない

質 交通弱者対策として、寄地区枝線運行便の増発はできないか。

答 (政策推進課)

4月から土曜日の枝線運行を新たに設定する。

質 プロモーション事業とは何か。

答 (政策推進課)

四季折々のイベントを動画としてホームページに掲載し、町の魅力を外部に積極的に発信する事業です。

質 縁結びサポート事業の一環である「ふるさと同窓会」とは何か。

答 (定住少子化担当室)

松田町内で同窓会を行うと、1人2千円、限度額5万円を補助する制度で、出会いの機会を広げる事業である。

その他

が、映画館的な利用については検討する。

質 福祉タクシー券の支給枚数を増加できないか。

答 (福祉課)

1か月に2枚、人工透析者には4枚支給しているが、利用率は55%程度であり、障害者団体の声を確認する。

質 有害獣防護柵の補修が追いつかない。増加が見込まれる耕作放棄地対策は。

答 (観光経済課)

狩猟免許取得費の全額補助など、猟友会会員の増加を図ると共に、1市5町の協力体制を検討する。

質 芋焼酎の生産販売は、今年も続けるのか。

答 (観光経済課)

芋の生産は休止する

予算審査特別委員会報告書(抜粋)

審査の内容

歳入は一括、歳出については、款項ごとに審査しました。歳入の根幹である町税は、納税者人口の減少と建物の評価替えなどにより減となり、加えて地方交付税も減となっていることから、厳しい予算編成となっています。

一方の歳出においては、平成26年9月の決算審査特別委員会で指摘した事項が先送りされています。さらに、定住化を図るため狭あい道路の改良工事等については、十分な予算配分といえない状況となっています。これらのことを踏まえ、次の項目について強く申し入れて、賛成することとしました。

- (1) 財源確保と地場産業育成のために、「ふるさと納税制度」の積極的な取り組みをすること。
- (2) 既存町営住宅居住者の住み替えに取り組むとともに、統廃合後の土地についての定住化を促進すること。
- (3) 住宅地内の狭あい道路の解消や未利用地を有効活用するために、町道改良・新設工事についての早期実現に取り組む人口増を図ること。
- (4) 平成25年度に凍結した寄地区の体験実習館改修工事が、再度予算計上されています。しかし、利活用の方針が明確でないことから十分な利用計画を提示してから執行すること。



予算審査特別委員会での審議



芋焼酎「震旦郷」

が、手持ちの芋で今年の焼酎は継続販売できる。

質 現在実施している移動販売事業は、地域の需要を満たしていない。新規事業者の選定は進んでいるか。

答 (観光経済課)

販売商品の内容を精査すると共に、新規事業者の開拓を図る。

質 学校給食材料に地元産品を取り入れているか。

答 (教育課)

地場産使用割合は35%あり、J・Aかながわ西湘から調達している。地元

産品は、数量・品質・サイズ・納期など課題が多いが、教育効果の面から使用を増やす検討をする。

質 幼稚園運動能力テストや小学校体力向上推進事業の具体的な活動は。

答 (教育課)

幼稚園年長から小学6年生までの運動能力向上を図るため、体力測定などから実態を把握し、必要なスポーツを選定する。